

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	天王町あけぼの園			
○保護者評価実施期間	2025 年 11月 1日 ～ 2025 年 11月 30 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025 年 11月 1日 ～ 2025 年 11月 30 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムが多く、 日々異なるプログラムを行っている。	利用者が主体となって全ての段取りを決める 「子ども企画」では主体性を育み、 その他のプログラムでは保護者様や利用者様から どこに行きたいか、何をしたいかをヒヤリングし 職員のみではなく子どもたちが嬉しい、楽しいと思える プログラム作りをしています。 また日々異なるプログラムを行うことで手先の使い方、身体の使い	保護者の皆様、こどもたちのニーズはできるだけすくい上げ、プログラムに組み込んでいく。 またまだ挑戦したことのない活動を積極的に 挑戦していきます。
2	余暇活動やプログラムの内容によっては、 グループに別れ少数での活動を行い 一人ひとりに対しての支援を手厚くしていく。	グループに別れることで関わる人数が絞られその中で普段関わりの ないお友達と関わりを持てたり、関わり方を知ったり することができます。 また少数で行動することで職員の目が行き届きやすくなり 支援が手厚くなることでより良い支援に繋がっていきます。	継続して選択制のプログラムを設けていきます。 別グループの利用者、職員それぞれ良かった点、楽しかった 点を伝え合う場を設け、それらを聞いて 「行ってみたい、やってみたい」といった気持ちを促せる様 な場を設けていきます。
3	日々の支援の中に個別学習を取り入れ 個々に合った学習内容を提供している。	日々の支援の中で気付いた点や、保護者からのご要望を 洗い出し、その中で各自の目的やねらいを設定していま す。 次にどの様に学習に持っていくか、どの様な学習内容に するかなど日々の打ち合わせの中で模索し実行していま す。	一人ひとりの頻度をお子様の負担のない程度に回数を 増やしていき、より良い支援と個別学習を実践してい くことで 職員の支援力向上に努めていきます。 学習結果は都度、保護者へ書面で報告し継続してい きます。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内が狭く、部屋を分けることができない為、 クールダウンや個別学習を行いにくい環境である。 またグループ別での活動が行いにくい。	室内が狭く、ワンフロアしかないことが要因。	引っ越しの検討。 それまでは現在と変わらず、室内と外で別れての活動。 時間を分けての活動などの工夫していく。
2	支援後の情報共有ができておらず、 その日の内に振り返りができていない。	退勤時間がそれぞれ異なっていること。 送迎後に事務作業が必ずあることで話し合う時間を設ける事 ができていない。	必要なことはノートや情報ツールを駆使して共有していく。 最初は 5 分でも良いので時間を設け、ルーティーンを作っ ていく。
3	保護者同士の交流や地域との交流が希薄。	情報が降りてきたら参加している。	此方から情報を取りに行き、積極的に各イベントに参 加していく。 交流会を年一回から考えていく。